

# 動労千葉

86. 10. 2

No. 2368

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

## いかなる反動にも屈せず勝利するまで闘い続ける

### 不当家宅捜索に対する抗議声明

九月二八日、及び十月一日の早朝、埼玉県警は「九・一真国労役員襲撃事件」を口実に、動力車会館をはじめ、動労千葉組合役員の家宅など計十一カ所について違法・不当な家宅捜索を強行した。

これは、「事件」なるものが動労千葉組合員とは全く無関係であることを百も承知で行った断じて許せぬ暴挙。フレームアップ・政治的弾圧である。そもそも「九月一日の事件」なるものが埼玉県および関西において発生したとされる日時には、わが動労千葉は全役員・代議員・傍聴者が出席しての（八月三一日から泊り込み九月一日まで）動労千葉第十一回定期大会を九十九里において開催中であつたことは天下周知の事実である。

権力は、本人が留守中の家庭に七、八人で押しかけ、夫人を脅迫し、ダンスや裁縫箱の中までかきまわす一方、動力車会館には大量の機動隊・私服警官を動員し「大捜索」したにもかかわらず押収品は「日刊動労千葉」や、公然と発行されている各団体の新聞、ビラだけという事実で明らかのように、分割・民営化絶対反対十万人首切り粉砕の旗をおろさず、「六一・一ダイ改」阻止の九一十一月決戦を断固として宣言し、全国の国鉄労働者に反撃の闘いへの決起を呼びかける動労千葉を社会的に孤立化させ、闘いの圧殺を狙った悪質きわまりない政治的弾圧である。

われわれは、かかる弾圧を徹底的に糾弾するとともに、いかなる反動的攻撃にも屈することなく、労働運動の原点を守り、日帝・中曽根、国鉄当局による分割・民営化十万人首切りという国鉄労働運動解体攻撃と真向から対決し、勝利するまで闘いぬくものである。

一九八六年十月一日

国鉄千葉動力車労働組合

# 10.10 国鉄「分割・民営化」阻止 国会抗争圧殺のための 埼玉県警による政治的弾圧を弾劾する

## 千葉動労が順法闘争

十月十三日以降には第三波（洋委員）は三十日、国鉄分割・民営化に反対して十月一日から十二日まで、千葉鉄道管理局管内の全線を順法闘争に入ること明らかにした。同労組は昨年十一月、ことし一月の二回にわたり分割・民営化反対の二十四時間ストを展開した。

また千葉動労は三十日午前、人材活用センターに配属された組合員のうち十一人について「配属は支部役員などを狙った選別人事であり、労働組合法に反する不当労働行為」として、配属の無効を求める仮処分申請した。

### きょうから安全確認行動

千葉動労（中野洋委員）は、組合員九百八十人は、国鉄の分割・民営化反対を掲げて、一日から十二日まで危険箇所など

で安全確認する非協力安全確認行動を実施する。三十日明らかにした。対象は総武内外房線など管内九線区。千葉鉄道管理局は「影響が出て小規模」とみている。国労本部が従来の「分割・民営化反対」方針の修正へ動く中で、千葉動労は分割・民営化絶対反対

### 人活センター配転無効

本来の業務と全く関係のない人活センターへの配属は不当として、配属転換の無効を求める仮処分を千葉地裁に申請した。

### 法混乱なし

千葉動労（中野洋委員）は、国鉄の分割・民営化に反対して、十月一日から十二日まで、千葉鉄道管理局管内の全線を順法闘争に入ること明らかにした。同労組は昨年十一月、ことし一月の二回にわたり分割・民営化反対の二十四時間ストを展開した。

組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！